

神戸学生青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.116

No.116

発行所 (公財)神戸学生青年センター

理事長 飛田 雄一

館長 朴 淳用

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22

TEL (078) 891-3018 FAX (078) 891-3019

Yahata-cho 4-9-22, Nada-ku

Kobe, 657-0051 Japan

E-mail: info@ksyc.jp

U R L https://ksyc.jp

阪神淡路大震災、そのとき留学生は

(公財) 神戸学生青年センター理事長

飛田 雄一

もうすぐ阪神淡路大震災から30年です。朝、センターに行くと、中国人の管理人家族が毛布にくるまって外にいました。怖がっていました。

壁が壊れた部屋もありましたが、使用に問題はないようでした。最初にセンターに避難して来たのが韓国人留学生・鄭燦珪さん。当時センターのフロントアルバイトでした。彼のアイデアで、「生活一時金」を留学生に支給することになりました。3万円、返済不要です。計2310万円(767人)を支給できました。久米宏のテレビ番組でセンターの募金口座番号がでたこともありました。びっくりしました。

鄭さんは、「日本人の学生がお金持ちだとは思わないが、当面の生活費に苦勞する留学生も多い」とのことでした。当時一番人気は、携帯コンロ。4~5000円でしょうか。そのコンロも買うのがつらいという留学生もいるのではという話でした。

当時のセンターは、宿泊施設がありました。避難所としては好都合です。留学生専門の避難所となりました。留学生の「自治」はたいしたものでした。祖国に避難していた留学生家族がもどってくると、リーダーが「部屋が足らなくなったので、あなたは大学に寝袋をもって行ってください」というようなこともありました。

センター避難所から留学生が次の住居に移るときは、餃子パーティ、キムチチゲパーティでした。センター



留学生支援グループの合同報告会 1995年5月26日

に泊まり込んでいた日本人ボランティアもいっしょに楽しい食事会でした。食材はどこで調達していたのでしょうか?

支援物資も届けられました。すてきなバスケットシューズが200ほど来たことがあります。留学生で分けて残りをチャリティーで販売(3000円?)したらすぐに売れました。自転車、オートバイも来ました。「辛ラーメン」もダンボール200箱ほどきて、みんな喜びました。

一時金支給が一段落した夏ごろ、日本DECという会社が1000万円、寄付をくださいました。「一時金支給は終了しました」「では、ご自由にお使いください」とのことでした。このお金を基に「六甲奨学基金」がスタートしました。現在まで続いています。基金が枯渇するときもありましたが、「古本市」で挽回したときもあります。2023年まで合計164名に支給しました。総額約9800万円になります。月額5万円、返済不要です。2025年度は10名に支給します。奨学金をもらったからと、毎年募金をくださる元奨学生もいます。うれしいことです。

震災はたいへんなことでしたが、すてきな多くの出会いもありました。それは、いまもセンターの「財産」として残っています。震災の記憶を心にとどめ、更に新しい歩みをつづけていきたいと思います



センターでくつろぐ被災留学生



餃子パーティもありました

古本市開催中

本館3Fロビーで「コリア関係書籍フェア」を現在開催しています。朝鮮奨学会様より約2500冊の本を寄贈していただき、10月から開催しているフェアですが、まだ本はたくさんありますので、興味のある方はぜひお立ち寄りください。コリア関係以外の本もたくさん並んでいます。(T)



11.19 古本市

林賢宜さんの韓国料理教室

9月はそうめん入り冷製豆乳スープ・ミンチ肉と豆腐のチョン、10月はスネ肉の辛味スープ・じゃがいものチャプチェ、11月はスペアリブの煮込み・サツマイモ団子を学びました。どれも家庭で作ることができるものばかりです。韓国の家庭料理レパートリーを増やしませんか?みなさんのご参加お待ちしております。(T)



9月メニュー

地域住民を対象とした『生活の漢字』教室

『生活の漢字』をかんがえる会協力により開催している全6回講座です。9月は神戸市の職員の方々からお話をうかがいながら、「命を守る行動」について学び、防災関連のことばから漢字を学びました。10月は阪急六甲駅周辺のお店にお邪魔して、POPや商品パッケージの中にある漢字を探しながら学びました。11月は自分の国の料理のレシピを紹介する回で、調理にちなんだ言葉から漢字を学びました。(T)



9.21 生活の漢字

はんてんの会講演会「靖国と自衛隊」

はんてんの会は、兵庫反天皇制連続講座。センターとの共催で、今回は服部良一さん(元衆院議員・社会民主党幹事長)を講師に「靖国と自衛隊」について学びました。そもそも靖国問題の本質は何であるのか、また近年急速に深まる靖国神社と自衛隊の奇妙な結びつき、服部さんご自身の遺族や各宗教界と連帯した活動、さらに韓国や台湾の遺族・支援者とのつながり等、なかなか知りえない貴重な話題提供をして下さいました。(Y)



11.22 服部良一さん

高作先生と学ぶ憲法

「衆議院選挙」後、今後の改憲論議を予想しながら批判的に検討を加えるという内容のセミナーでした。高作正博先生は、関西大学法学部教授。『憲法と沖縄を問う』(法律文化社)、『市民的自由とメディアの現在』(法政大学出版局)などの著書もあります。新しいメンバーも加わって、先生の講演を聞き、みんなで討論します。毎回の、要点をふまえた、簡略なレジメも好評です。ご希望の方には、配布します。学生センターまでご連絡ください。(H)



高作正博さん

六甲ウィメンズハウス& コープこうべ鶴甲まつり

11月9日コープ鶴甲まつり開催時に、六甲ウィメンズハウス2階のコミュニティカフェを利用しておーがにつく食堂を開催しました。ろっこうおーがにつく市出店者の「自然の恵みごはん『かさねて』」に協力いただき、六甲ウィメンズハウス入居者・地域住民・生協組合員の皆さまに美味しいおーがにつく定食を提供することが出来ました。(P)



会議室A(本館ウエスト100)

会議に...ゼミ・会議・講演会に

<1時間以上30分単位でご利用いただけます>

ご予約は6か月前より ☎078-891-3018

会場利用料金(1時間ごと)



スタジオB(ノース10)

■ウエスト100(本館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
ホール(2F)	60名	90㎡	2,200円	1,760円
会議室A(1F)	36名	60㎡	1,650円	1,320円
サロン室(1F)	20名	40㎡	1,650円	1,320円
会議室B(4F)	18名	25㎡	1,100円	880円
和室(4F)	12名	20㎡	1,100円	880円
会議室C(4F)	4名	8㎡	550円	440円

※ホール: グランドピアノ3,300円/回
会議室A: グランドピアノ2,200円/回
プロジェクトー2,200円、マイク550円/本

■ノース10(北館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
スタジオA	24名	35㎡	1,650円	1,320円
スタジオB	24名	30㎡	1,375円	1,100円
スタジオC	12名	20㎡	1,100円	880円

※スタジオA: アップライトピアノ1,100円/回、プロジェクトー2,200円

- 準備、あとかたづけを含め、すべて利用時間内に行ってください。
- キャンセルをされる場合は必ずご連絡をお願いいたします。
- 連絡なく利用されなかった場合は利用料の100%、当日キャンセル80%、前日のキャンセル50%、前々日までのキャンセル無料です。
- 当館には駐車場がございません。ご了承ください。

事務所はウエスト100(本館)



ウエスト100

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4丁目9-22

ノース10

〒657-0065 神戸市灘区宮山町3丁目3-1 六甲駅前ビル4F

- 阪急六甲より徒歩1分
- JR六甲道より徒歩10分

食料環境セミナー

9月は農業ジャーナリストで、大学非常勤講師を務めている松平尚也さんより、「気候温暖化や食と農における格差の課題と小農の現状」をテーマにお話していただきました。日本における有機農業戸数や面積、売上等は飛躍的に増加しているものの、大規模有機農場に集中している状況から、農村を守るため・持続可能な農業のためにも小農の役割を積極的に評価する必要があることを教えて頂きました。それから、近年の米価高騰についても詳しく説明して頂きました。



9.21 松平尚也さん 10.19 吉椿雅道さん 11.16 大竹進さん

10月はCODE海外災害援助市民センターの吉椿雅道さんより、「NGOから見た被災地のくらしと課題」というテーマでお話していただきました。CODE海外災害援助市民センターの理念や世界各地で行っている復興支援活動について説明して頂きました。今年元日に発生した能登半島地震、9月に発生した奥能登豪雨災害地への現地支援活動を通じてみてきた課題や被災者の声から見える現状と課題について詳しく説明して頂きました。

11月は前青森県保険協会会長で、大竹整形外科院長の大竹進さんより、「さいクリニックな日々〜Dr.オオタケ半島(無医村)診療の物語」というテーマでお話していただきました。最初にさいクリニックな日々共同著者である松田耕一郎さんより青森での活動について紹介して頂きました。その後、大竹さんより生涯にわたって行っている医療活動と無医村佐井村に診療所をつくり、その後、起きていく地域の変化について説明して頂きました。なくそう原発・核燃あおりネットワークとしての活動や再処理工場から排出される放射性物質による汚染問題、海水中のトリチウム移行と人体への影響についても詳しく説明して頂きました。食料環境セミナーにてお話し頂きました先生の皆さま・参加者の皆さま、ありがとうございました。(P)

土曜ティーサロン

9月は酒折有美子さん(JICAシニアOV会)が「ウルグアイの歩き方」、10月は津村樹理さん(大阪キリスト教短期大学講師)が「マトリョーシカとキムチとカメレオン」、11月はYEASIN MDさん(2024年度六甲奨学基金奨学生・アリスト外語学院)が「バングラデシュの歩き方」をテーマにお話し下さいました。その土地に住む人々の考え方や、知られざる穴場など、暴風雨の日もありましたが、興味深いお話をありがとうございました。土曜ティーサロンは毎月第1土曜日午後2時から約1時間、多様な講師による海外の楽しいお話を聞き、語り合います(1月・5月・8月休み)。(Y)



9月 酒折有美子さん 10月 津村樹理さん 11月 Yeasin MDさん

現代キリスト教セミナー

かつて中国東北部に作られた日本の傀儡国家「満州国」。約27万人の開拓団が入植し、その中に2つのキリスト教開拓村がありました。長年にわたり関係者の聞き取り調査を続け、その成果として今年『証言・満州キリスト教開拓村』を出版されたノンフィクション作家の石浜みかるさんが「満州キリスト教開拓村」の知られざる歴史をテーマにお話し下さいました。この史実に対し戦後日本のキリスト教は真摯に向き合ってきたのか、旧満州移民の失策と教訓が今の日本の移民問題にどれほど活かされているのかなど、多くの問いを投げかけられました。歴史を記録し、後世へ語り継ぐ必要性も強く感じました。講演と意見交換、その後の懇親会も含め大いに学んだひと時でした。(Y)



11.29 石浜みかるさん

朝鮮史セミナー

2回開催しました。①「再論、兵庫県・朝鮮人強制労働」。竹内康人さんは、強制動員真相究明ネットワーク会員。センター出版部から増補改訂版『戦時朝鮮人強制労働調査資料集2-名簿・未払い金・動員数・遺骨・過去清算』をいただきました。「再論、兵庫県・朝鮮人強制労働」をテーマに講演していただきました。



10.19 竹内康人さん 10.30 山口祐香さん

②「江戸時代の朝鮮通信使—映画と講演の夕べ」。むくげの会(センター内)所蔵のドキュメンタリー映画「江戸時代の朝鮮通信使」(製作:辛基秀、脚本:辛基秀・滝沢林三、監督:滝沢林三、50分)を上映しました。そして、4月(2024年)、「発見」された朝鮮通信使: 在日朝鮮人歴史家・辛基秀の歴史実践と戦後日本」(法律文化社)を書かれた山口祐香さんに講演していただきました。(H)

定期利用

グループ・教室のご案内

- ◆からむい会(絵更紗) 第2・4木曜日・後0~4:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコース 月曜日・前10~12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団 金曜日・前10~12:00
連絡先・谷山 078-783-8665
- ◆創作アプリケ
第2・4月・金曜日・前10~12:00
第2・4金曜日・後1~3:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス)
第1・3・4土曜日・後5:30~9:00
連絡先・西山:080-5704-5406
- ◆ヨガ体操 火曜日・前10:00~12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆全珠連会員・熊内そらぼん六甲教室
火・後3~7:00、土・後2~5:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコンドーアカデミー・武哲館道場
毎週金曜日・後7~9:00
妹尾先生 070-1046-1575
- ◆実践空手道場稽践会 毎週月曜日・後4~9:00
藤本先生 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会)
第1・3金曜日 前10:00~12:00
連絡先・三田 090-7092-6903
- ◆前田書道会 第1・3火曜日・前9~後3:00
前田先生 078-385-1650
- ◆Rokko kids English Club
木・金 幼稚園クラス・親子クラス
山本先生 078-585-9328
- ◆東神戸トーストマスターズクラブ
第4土曜日 後1~5:00
連絡先・細川 080-8525-3926
- ◆崑曲勉強会 第3日曜日 後1~5:00
連絡先・村田 078-806-8243
- ◆神戸フィラデルフィア教会 聖書の会
日曜日・前10~後1:00
連絡先 078-871-9192
- ◆公文阪急六甲駅前書写教室
水曜日・後3:00~8:00、土曜日・前9~後3:00
高田先生 080-4485-7877
- ◆居空間RoCoCo
火・水・木
連絡先 070-5346-6550
- ◆親子で手しごと「いいねっご」
第2土曜日・前9時~12時
連絡先・桑田 090-7755-0807
- ◆ハーモニースマイル
第1・3水曜前10~12時
第2・3・4金曜後1:30~3:30
松本先生080-5353-4135

お問合せやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けることができます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

賛助金・六甲ウィメンズハウス募金

2024.9.1~11.30(敬称略・単位円)

Table with 4 columns of names and donation amounts for the Women's House fund. Total amount: 904,000円.

賛助金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替 01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター
備考欄に「賛助金」とお書きください。
銀行振込 三井住友銀行 六甲支店 0779663
公益財団法人 神戸学生青年センター 賛助金

六甲奨学基金

2024.9.1~11.30(敬称略・単位円)

Table with 4 columns of names and donation amounts for the Scholarship Fund. Total amount: 265,000円.

六甲奨学基金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替 01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター
備考欄に「奨学金」とお書きください。
銀行振込 三井住友銀行 六甲支店 0779651
公益財団法人 神戸学生青年センター 六甲奨学基金

セミナーの記録

2024.9.1~11.30

食料環境セミナー

9月21日「気候温暖化や食と農における格差の課題と小農の現状」松平尚也さん
10月19日「NGOから見た被災地のくらしと課題」吉椿雅道さん
11月16日「さいクリニックな日々～Dr.オオタケ 半島(無医村)診療の物語」大竹進さん

ろっこうおーがにつく市

非営利団体くらしの中のおーがにつく(共催)
毎週土曜日10時~13時
野菜他の販売と交流会
10月26日 六甲おーがにつく食堂

朝鮮史セミナー

10月19日「再論、兵庫県・朝鮮人強制労働」竹内康人さん
10月30日「江戸時代の朝鮮通信使—映画と講演の夕べ」山口祐香さん

六甲奨学基金

日本語サロン 毎週月・土曜日
古本市常設開催/コリア関連書籍フェア(~/1/31)

朝鮮語・韓国語講座

夜初級1 毎週火曜日 尹智香さん
夜上級 毎週木曜日 尹智香さん
昼初級2 毎週金曜日 鄭京淑さん
応用 毎週金曜日午前 林賢宜さん

林賢宜さんの韓国料理教室

9月7日そうめん入り冷製豆乳スープ・ミンチ肉と豆腐のジョン
10月5日スネ肉の辛味スープ・じゃがいものチャプチェ
11月2日スベアリの煮込み・さつまいも団子

土曜ティーサロン

9月7日「ウルグアイの歩き方」酒折有美子さん
10月5日「マトリョーシカとキムチとカメレオン」津村樹理さん
11月2日「ハングラディシュの歩き方」YEASIN MDさん

現代キリスト教セミナー

11月28日「満州キリスト教開拓村」の知られざる歴史 石浜みかるさん

高作先生と学ぶ憲法

11月9日「2024年衆院選後の改憲論」

その他のセミナー・行事

9月21日地域住民を対象とした「生活

の漢字」教室③
10月19日地域住民を対象とした「生活の漢字」教室④
11月22日はんてんの会「靖国と自衛隊」服部良一さん(共催)
11月16日地域住民を対象とした「生活の漢字」教室⑤

RoCoCoクリスマスフェア

11/22~25毎年恒例の居空間RoCoCoクリスマスフェアが1Fサロン室で開催されました。クリスマスやお正月の飾り、アクセサリー、ポーチなど、今年は総勢41名の作家さんによる手作りの作品が並び、開店と同時にたくさんのお客さんと賑わいました。(T)



11・22 RoCoCoクリスマスフェア